



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル

TEL 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



アルテミス (アポロの双子 月の女神) 計画

「アポロ計画」で月面着陸してから53年、再び月面着陸を目指す米国主導の「アルテミス計画」が進んでいます。持続的な月面開発と火星への有人探査を視野に、多くの企業が参加する一大プロジェクトです。

月に向かう新型ロケットは「SLS」。高さ100mにもなる巨大ロケットで、1回の積載量は27トにもなる超パワフルロケットです。ただしコストを抑えるために、これまで培ってきたスペースシャトルと同型のエンジン4基とブースターエンジンを使います。

アルテミス1 (今年夏) 無人宇宙船「オリオン」を打ち上げ、月を周回し、太平洋に戻ってくる。

アルテミス2 (2024年) 有人で月軌道を周回して、地球に帰還する。

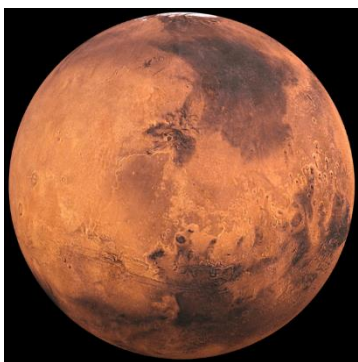
アルテミス3 (2025年) 有人で月面着陸を目指す。

アポロ計画とアルテミス計画の違い

アポロ計画では、宇宙飛行士は月面着陸を目的とし、月からすぐに帰還しましたが、アルテミス計画では月周辺に宇宙基地(ゲートウェイ)を建設し、水や鉱物など月面の物質を活用し、月面を継続的に開発していくものです。また、アポロ計画では白人男性のみが着陸しましたが、今回の一人目は女性で、有色人種も検討されているそうです。

2030年～2040年代には火星へ人類輸送

アルテミス計画では月における資源開発を行い、月面基地を設けるようです。そして次のステップでは火星への有人探査が開始されます。映画「トータルリコール」の世界があと10年でやってくるのかと思うとワクワクします。



火星で農業 研究中

火星の地表温度は20℃～マイナス130℃(平均マイナス55℃)、重力は地球の1/3、一日の長さはほぼ同じですが日射量は地球の半分、大気の9割が二酸化炭素、地表は玄武岩と安山岩。このままでは農業はできませんが、火星の南極には氷が確認されており、酸素・窒素を加えた温室ドーム内での農業が研究されています。

これまでの研究で、「玄米、サツマイモ、大豆、青菜」が生産可能とされています。特に大豆は「地大豆」に見られるように、栽培する場所や土壌の条件に適合しやすい植物です。火星の土壌でも元気に根付き、20年後の弊社100周年には火星営業所で「地大豆マーズ」を売っているかもしれません。

ワクチン4回目接種 期待される効果は?

日本では3回目の接種が58.2%とようやく半分以上をすぎたところですが、一部の国ではすでに4回目接種が進んでいます。イスラエルでは3回目から4カ月が経過したところで、医療従事者や高齢者を対象に接種をすすめてきましたが、3回目接種による免疫効果と比較すると、4回目はやや見劣りするとの研究結果が出ているようです。

「若くて健康な医療従事者の4回目接種はわずかな効果しかない」とのこと。但しイスラエルの追加接種は、3～4カ月の短い期間で接種を実施した点に問題があるようです。ワクチンは3回目接種・4回目接種の間隔が長い方が、抗体の質がよくなる



と研究で明らかになっています。一方で、ファイザーやモデルナはオミクロン株に合わせ開発した「特化型ワクチン」の臨床試験にも取り組んでいます。まだ論文の段階ですが、サルやマウスの実験では特化型ワクチンの追加接種と現行ワクチンの追加接種では効果に差がありませんでした。しばらくは政府から指示された期間をあけて、現行ワクチンを追加接種し続けることが現実的と思われます。

シカゴ大豆相場の動向について

5月28日 **1 銭/17.32 ドル**と、ウクライナ侵攻以降 16 ドル後半で推移しておりましたが、中国の都市封鎖解除は需要拡大につながるとの予想から、**再び上昇トレンド**に入っております。

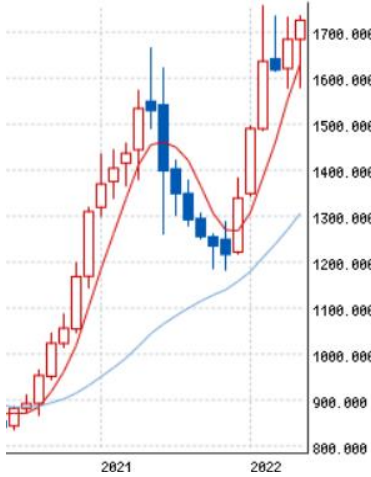
輸入大豆について、中国産大豆は入手可能ですが、価格が国内産大豆とほぼ同程度。またロシア産大豆も中国産より若干安い程度です。海上輸送の停滞は継続しており、アメリカ・



カナダからの船便がまったく到着しない状況です。上海の都市封鎖解除により、海上輸送の更なる混乱が予想されます。

一方、ドル円相場は、アメリカのインフレ懸念から3カ月で+1.5%の利上げを実施し、中立金利 2~3%まで利上げするとみられ、7月も+0.5%の利上げが想定されております。本来であれば、米国長期金利も上昇するはずですが、現在 2.74%で5月上旬の 3.0%からは若干低下傾向で、ドル円相場も 126 円~128 円で推移しています。日本の金融緩和継続により、日米金利差が大きくなることが予想されていましたが、ここにきて円安が小休止しております。

マーケットの不安定さから、海外産大豆の価格について一段と不安定な状況です。いまある大豆を早々に確保しておくことが賢明と思われれます。



令和3年産 国産大豆の第6回入札結果

前回4月と比較し落札率は減少しました(平均落札率 88.9%→78.5)が、西日本では昨年に続き、品薄が続いており、高い価格と高い落札率となっております。東日本では昨年のような品薄感はありませんが、西日本に引っ張られる形で、価格に大きな変動がありません。

コンテナ問題など海外産大豆が入荷されない状況から、国産大豆に目が向けられ、需要が高まっています。

今後一層の国産大豆需要の高まりが予想され、品物があるうちに抑えられるよう、弊社営業担当にご相談ください。



区分	上場数	落札率	平均価格	前月比
普通大豆	4,910 トン	78.4%	9,921 円	+134 円
特定加工用	1,208 トン	78.6%	9,085 円	△264 円
合計	6,118 トン	78.4%	9,755 円	+59 円

【過去3年の第6回上場数量の推移】

区分	今回	前回	2021/5月	2020/5月	2019/5月
普通大豆	4,910 トン	5,165 トン	4,386 トン	4,034 トン	2,935 トン
特定加工用	1,208 トン	1,548 トン	1,001 トン	1,020 トン	648 トン
合計	6,118 トン	6,714 トン	5,387 トン	5,055 トン	3,583 トン

次の入札は6月15日(水)の予定です。

口 本社	03-3211-4831	口 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
口 東北第一営業所	0229-54-1151	口 飼料部福島営業所	0243-24-1240
口 山形出張所	0234-21-9144	口 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
口 東北第二営業所	0243-24-5818	口 大豆保管定温倉庫(宮城大崎市・福島二本松市)	